

6年生の保護者のみなさまへ

河内長野市立南花台小学校  
校長 安田 喜孝



「令和6年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ」の結果について

錦秋の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、4月18日(木)に実施しました、令和6年度全国学力・学習状況調査及び4月23日(火)に実施しました、すくすくウォッチの結果について分析(成果と課題)及び取りみをご報告させていただきます。

《基本的な考え方》

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的にしています。

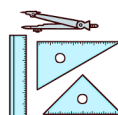
またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

- 子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。
- 学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。

《調査結果の取扱い》

- ◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。
- ◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。



《お願い》

- 学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。
- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。
- 調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。



学力・学習状況調査について

○国語

概要

本校の平均正答率は、全国平均より1.7ポイント下回っていたが、全体の正答率は66%で、概ねできている。

特に成果が見られた問題例

- 2 (三)イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う短答式問題。訓読みで分かりやすかった。比較的よく目にする漢字だった。
- 3 (四) 読書の記録の内容として適切なものを選択する問題。正答率は全国平均を15.4%上回った。読書ノートの取組みを行っているので、イメージしやすかった。

特に課題が見られた問題例

- 1 (三) メモの説明として適切なものを選択する問題。選択肢の一つ一つの言葉に対し立ち止まって考える力が必要である。
- 2 (二) 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように工夫する記述式問題。条件付きの作文に慣れ、与えられた情報をもとにまとめる力をつけていく必要がある。

○算数

概要

本校の平均正答率は、全国平均より0.6ポイント上回っていた。しかし、変化と関係の領域では全国より8ポイント以上低くなっている。

特に成果が見られた問題例

- 1 (2) 数量の関係を、□を用いた式に表す選択式問題。状況が読み取りやすく、選択肢もあったので解きやすかった。
- 5 (1) 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る短答式問題。円グラフの目盛りを正しく読み取れている。

特に課題が見られた問題例

- 2 (1) 計算のきまりを活用して、計算の仕方を考察する記述式問題。何を求められているのか前置きが長いと要点をつかめない。計算のきまりが定着していない。
- 4 (4) 分速を求める短答式問題。「速さ」の意味や求め方が知識として定着していない。

**概要**

本校の正答率は、府の平均より3.2ポイント上回っていた。その中でも、「生命」を柱とする領域は特に良く、85.5%の正答率だった。

**特に成果が見られた問題例**

2(4)①振り子の実験において、時間を測定する際の誤差を小さくする方法の選択式問題。振り子の実験で重りや長さを変える経験をたくさんしたことが知識の定着につながっている。

**特に課題が見られた問題例**

2(3)②電磁石の磁力を強くする方法について考えて、書き表す記述式問題。電磁石が身近な物ではないので実験内容が知識として残りづらい。コイルの巻き数を増やす方法なら答えられたのではないかと考える。

○すくすくウォッチ(教科横断的な問題わくわく問題)について

**概要**

本校の正答率は、府の平均より2.5ポイント上回っていた。資料の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える観点で正答率が高くなっている。また、興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える観点では正答率が100%だった。

**特に成果が見られた問題例**

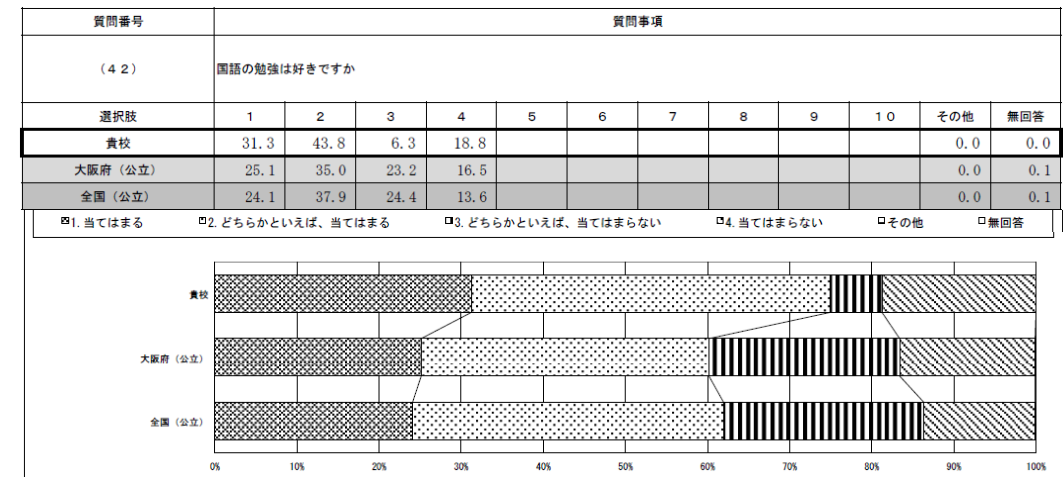
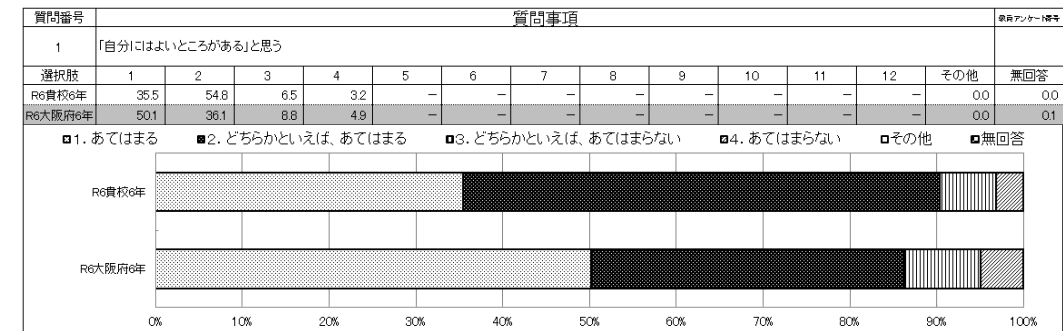
1(1)文章を読んで視覚的なイメージをとらえる選択式問題。特徴を示す言葉を読み取れている。身近な乗り物である自転車の歴史に、興味を持って取り組むことができた。

**特に課題が見られた問題例**

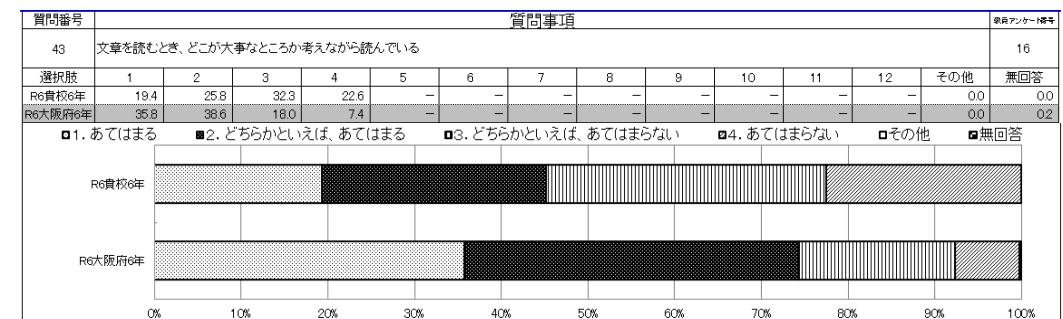
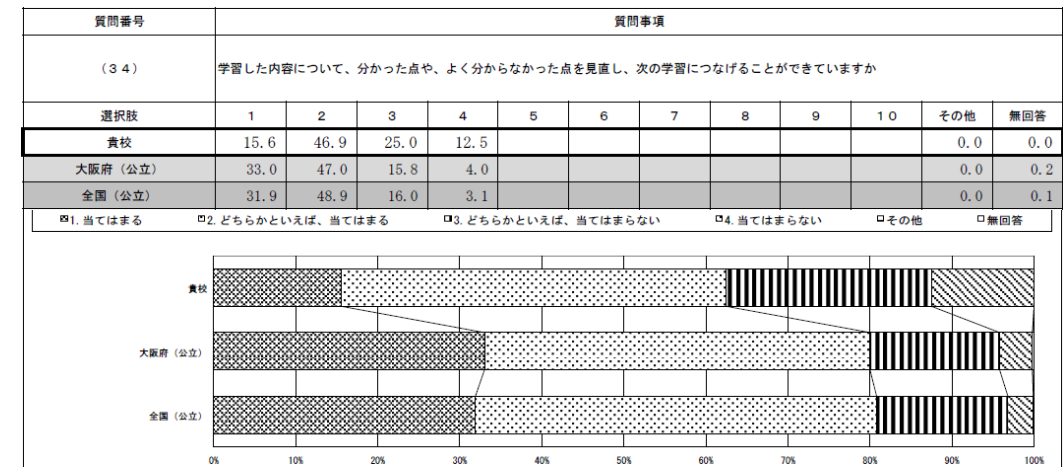
3(2)種々の資料からの読み取りとそれに基づいた思考を問う記述式問題。表に書く内容は適切に選択できている児童が多いが、調理法の共通点を挙げる点で正答率が低くなっている。

○児童アンケート(学力・学習状況調査・すくすくウォッチ)

◎特に成果が見られたアンケート項目例

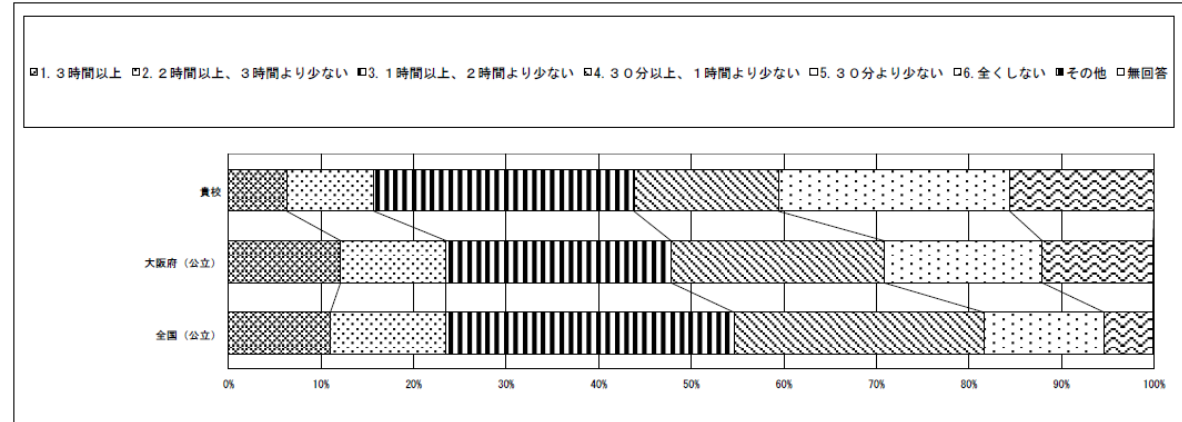


▲特に課題が見られたアンケート項目例

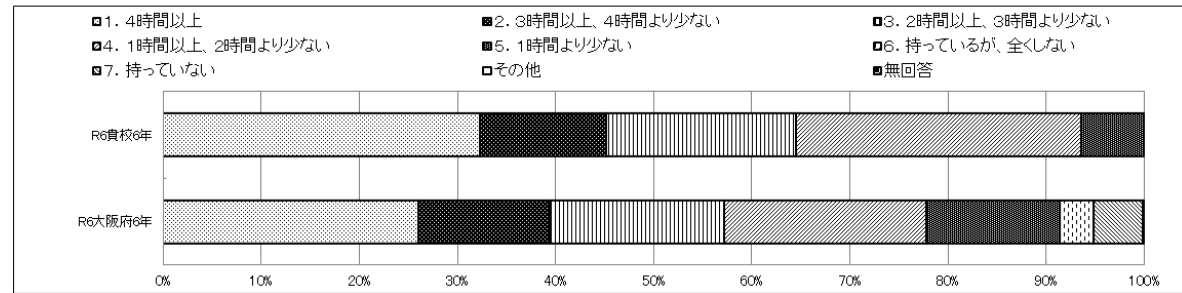


参考資料

質問番号	質問事項											
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	6.3	9.4	28.1	15.6	25.0	15.6					0.0	0.0
大阪府（公立）	12.1	11.4	24.3	23.0	17.1	12.0					0.0	0.1
全国（公立）	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3					0.0	0.1



質問番号	質問事項												児童アンケート№	
69	ふだん（月曜日から金曜日）1日に、およそどれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNS等）にスマートフォンやタブレット等を使っていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
R6貴校6年	32.3	12.9	19.4	29.0	6.5	0.0	0.0	-	-	-	-	-	0.0	0.0
R6大阪府6年	26.1	13.4	17.8	20.5	13.6	3.5	5.0	-	-	-	-	-	0.0	0.1



児童アンケートについて

すくすくの質問番号(1)では、90.3%の児童が肯定的な回答をしている。府と比べても4.1%高く、自己肯定感が高い学年団と言える。学力テスト(42)では、国語が好きな児童が全国より13.1%も高い。他教科においても児童の興味関心を高めていきたい。

一方、学力テスト(34)では、反復学習の低さが挙げられる。日々の宿題やテストのやり直しを丁寧に行い、自分の間違いを次の学習に活かせられるよう徹底していく必要がある。すくすく(43)においては、読書離れも要因の1つと考える。学校や家庭でも読書の時間を充実させ、たくさんの文章に触れる機会を増やしていきたい。

学力テスト(21)やすくすく(69)では、家庭での学習時間が全国より少なく、スマートフォンやタブレットを使う時間が府より多いことが分かる。ゲームや動画の時間を早めに切り上げ、中学校に向けて自主的に学習する習慣を身に付けていくことが望ましい。苦手な単元を克服したり、得意な単元をさらに伸ばしたりできるように意識して学習する習慣を身に付けさせたい。

学校が重点的に取り組んでいくこと

以上のような分析をふまえ、以下のような取組みを進めていきます。

○学ぶ意欲をはぐくむ授業づくり

- ・友だちと意見を交流して考えを深める授業。
- ・条件に沿って自分の考えをまとめて記述する練習。(要約、作文、ふりかえりなど)
- ・文章のポイントを読み取る工夫。(本文や資料などの大事なところに印)
- ・実験や観察を通し、学習内容を実生活に結び付ける活動。
- ・読書活動の充実を図り、語彙力を高める。

○自己肯定感と自己有用感を高める取組み

- ①「自らを意欲的に学ぶ力の育成」
  - ・自己理解を深め、自尊心の向上。
  - ・自主学習の推奨と子どもの評価活動による意欲喚起。
- ②リーダーシップの育成
  - ・わくわくまつり等、児童が主体的に企画・運営できる行事の設定。
  - ・異学年集団を活用してのリーダーシップの育成。
- ③他者への貢献力の育成
  - ・高学年の児童による下級生への貢献の機会の設定。
  - ・地域の方の協力への感謝と交流の機会の設定。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

○自分からすすんでチャレンジしよう。

いろいろな方法を試して、自分に合う方法を見つけましょう。分からないことや知りたいことは、まず自分で調べてみましょう。

○工夫しながら問題に取り組もう。

問題を読むときは、大切なことを落とさないように印をつけながら読むようにしましょう。難しい問題は繰り返し読んだり、問題を解き終わったら見直しをしたりするようにしましょう。

○時間を大切にしよう。

ゲームやスマートフォンの時間を守り、自主学習や読書の時間を充実させましょう。学習計画を立てて毎日こつこつと取り組むことで、力や自信がついてきます。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

○基本的な生活リズムを整えてください。

ゲームやスマートフォンの時間をお子様と一緒に振り返ってみてください。また、子どもたちが、朝ごはんや睡眠時間、学習時間など家庭での基本的な生活習慣を守ることで気持ちが安定し、学習意欲や良好なコミュニケーションにもつながります。

○たくさん褒めて認めてあげてください。

家で褒めてもらっている子どもたちが多くいました。引き続き学習面の結果だけでなく、学習の過程や生活の中でもたくさん褒めてあげてください。

○一緒に過ごす時間を大事にしてください。

家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりしている子どもも多くいました。家が安心できる場所であることで、子どもたちは学校や社会で様々なことに思いっきり挑戦していくことができます。日頃からのサポートありがとうございます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。